

スリップフォーム工法学ぶ

前田道路四国支店(宮下庄司支店長)は、14日に徳島市の国



中堅・若手10人が参加した
(前田道路四国支店提供)

道のトンネル舗装現場で施工勉強会を開いた。支店の中堅や若手の技術者10人が参加。コンクリート舗装をマシン1台で施工できる「スリップフォーム工法」の施工手順を学んだ。

現場は、四国地方整備局徳島河川国道事務所発注の「令和3年度南環川西・川北トンネル舗装外工事」。施工場所は徳島市上八万町川西く下中筋の一般国道192号徳島南環状道路。施工延長1620mで、うちトンネル延長は580m。工期は8月19日～2022年1月31日。コンクリート舗装は従来、敷きならしから締め固め、仕上げ

前田道路四国支店 コンクリ舗装現場で勉強会

までの作業ごとに大型機械が必要だった。スリップフォーム工法は、機械に型枠(モールド)を取り付け、投入したコンクリートをモールド内部で強力で締め固めながら機械を前進させて連続的に施工する。機械を走らせるレールやコンクリートの型枠が不要。作業日程の短縮や省力化につながる。

四国整備局の徳島県内の工事で同工法が採用されるのは初めて。勉強会は今後、導入拡大が期待されている同工法の経験を積み、技術を継承するのが狙い。現場代理人で監理技術者を務める同支店の浅川邦広氏が現場を案内し、品質管理や施工管理のポイントをレクチャーした。